

アートを通じ、障害者の自立支援を目差しています。

## アート作品レンタル事業案内



あいアイ工房ホームページ

認定NPO法人

あいアイ

あいアイ美術館



## はじめに

---

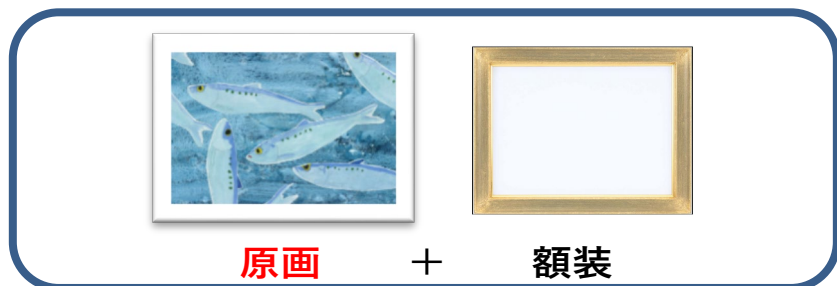
あいアイ美術館が管理・所蔵する小さな画伯たちの作品はとうとう4万点を超えるまでになりました。彼らの創作する作品は、みな個性的で才能に満ち溢れています。見る人の心を惹きつけ、近い将来、現代芸術の一分野を担える力を感じます。

私たちは、一日も早く、それぞれが、画家として自立できるよう全力で支援しております。

年齢、性別、国籍そして障がいの有無を問わず一人ひとりの「眠っている才能を呼び起こすお手伝い」が出来ればと思っております。



# アート作品レンタルの仕組みと価格



納品させて頂く作品は、サイズ（A3）統一のため、超大作の縮小をはじめ、バック処理のための加色など、あいアイのオリジナル原画に加筆製作された新作品になります。



## ●あいアイ VIPサポーターコース

月額支援額	含まれるもの
10,000円	入れ替え用原画4枚 サポーター登録証

※契約は年契約となります

## ●あいアイ サポーターコース

月額支援額	含まれるもの
4,000円	入れ替え用原画1枚 サポーター登録証

※契約は年契約となります



# あいアイ美術館のご紹介

NPO法人あいアイ

## あいアイ 美術館

アウトサイダーアートを開花させるために2007年にOPENした美術館。  
地域や企業と連携したアートイベントを毎月行っています。



あいアイ美術館  
(NPO 法人あいアイ)  
埼玉県川越市的場北 1-17-3  
TEL / 049-277-7872  
<http://ai-ai-art.jp/>



# あいアイの歴史・物語

---

あいアイ代表の栗田千恵子でございます。

私たちあいアイは、これまで「年齢、性別、国籍、そして障害の有無を問わず創造活動し、その成果を障害者の自立の一助とする」をスローガンに、「障害者がアートを通じて精神的、経済的に自立して行ける環境を作ること」を目的に活動してきました。

はじめは私が大学生（18歳）のアルバイト先で出会った当時小学生の自閉症児との出会いでした。絵を描くことが好きだったその子は、最初は視線を合わすことができず「こっちを見て」と言っても見てくれませんでした。絵を描くには観察することがとても重要です。ある時、その子に物を見るという行動を覚えてもらおうと赤い風船を顔の前で破裂させました。するとその瞬間その子は破裂した風船を凝視したのです。赤い風船の中には白い石膏の卵がありました。それ以来「見て」というと視線を向けてくれるようになってくれました。

その子とのかかわりの中で障害者指導のノウハウが始め、「○×△を描く」「基礎学ノート作成」「どんな発作に出合ってもダメはダメ」「覚悟を決めて」「凛として対応する」「作品を大切に作る」などなど。今のあいアイのノウハウが生まれました。そして1972年本格的に活動を開始し、2003年に埼玉県川越市で法人化致しました。

現在は、①川越市にアウトサイダーアート美術館「あいアイ美術館」。②東京都北区に「あいアイ工房（就労継続支援B型事業所）」③川越、練馬、青山で絵画教室を運営しています。

今後とも皆様とともに障害者の自立への歩みをサポートしていければ幸いです。  
よろしくお願い申し上げます。